

令和3年度 住吉区総合防災訓練 実施結果



1 概要

○目的

区災害対策本部の初期初動体制の実効性について検証を行うとともに、コロナ禍において、各地域が迅速かつ円滑な避難所の開設・運営が行えるように、避難所開設に重点を置いた訓練実施により、行政と住民等の連携強化、地域の総合的な防災力向上を図る。

また、昨年度実施できなかった町会一時避難場所における訓練も、参加人数を制限した上ではあるが実施することにより、地域防災力の向上を図る。

○日時

令和3年11月13日(土) 9時～12時

○場所

災害時避難所、町会一時避難場所、住吉区役所 他

○参加者

合計：約2,000人(令和2年度：約1,000人、令和元年度：約9,000人)

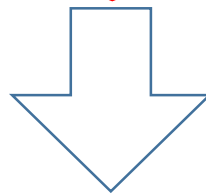
<内訳>

地域活動協議会役員、地域防災リーダー等 約1,700人、
区役所職員141人、住吉区在住の大阪市職員(直近参集者)69人、
その他関係機関 約100人

2 訓練のイメージ

地震発生！
⇒9:00 訓練開始！
(町会一時避難場所、災害時避難所に集合)

防災スピーカーは鳴りません。



①町会災害対策本部の設置訓練 (町会長、町会役員等)

1. 一時避難場所に町会本部を設置

2. 無線通信訓練(地域本部と通信)

3. 安否確認訓練

4. 災害時避難所への避難訓練

【その他】

- ・救助資器材の点検、使用訓練
- ・ケガ人や要援護者の搬送訓練(車イス等)
- ・応急手当訓練
- ・初期消火訓練(消火器の確認等) など

一般の方は
参加しません。

2 訓練のイメージ

地活協役員
及び防災
リーダー等

②地域災害対策本部の設置訓練

1. 情報収集・伝達訓練

- 町会本部とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 安否確認、被害状況の把握
 - ・ 救護要請など
- 避難所とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 建屋被害状況、避難者数の確認
 - ・ 物資、救援要請など
- 区本部とのMCA無線通信訓練
 - ・ 地域被害状況、避難者状況の報告
 - ・ 救出救護、物資要請など
- 状況付与への対応訓練

③避難所運営委員会の設置訓練

1. 情報収集・伝達訓練(総務・情報班)

- 地域本部とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 避難者数の確認
 - ・ 物資、救援要請 など

2. 受付、避難所配置訓練(管理班)

- 受付設置と避難者数の集計
- 避難室の設置、看板等の設置・表示
- 簡易トイレの設置
- 避難所レイアウト(養生テープ等で分け)

3. 熱咳等症状者やけが人の対応(救護班)

- 救護室、福祉避難室の設置
- 療養スペース等の設置
- 福祉避難所への搬送訓練

4. 備蓄物資の確認(食糧・物資班)

- 備蓄物資の点検

2 訓練のイメージ

④区災害対策本部の設置・運営訓練

1. 本部設置・情報収集・伝達訓練(庶務班)

- 区災害対策本部の設置(4階大会議室)
- 地域本部とのMCA無線通信訓練
- 防災情報システム通信訓練
- ボランティアセンターとの無線通信訓練
- 広報訓練(twitter)

2. 災害時避難所での受入れ(避難受入班)

- 地域と連携した避難所開設訓練

3. 被災者の医療救護、 区医師会等との連絡調整(保健福祉班)

- iisumiによる情報収集
- 福祉避難所とのデジタル無線通信訓練
- EMISへの登録訓練

⑤コロナ指定避難所

1. 情報収集・伝達訓練

- 区本部とのデジタル無線通信訓練
・避難所開設、避難者数の報告 など

2. 避難室設置訓練

- 避難室の設置、看板等の設置・表示
- 簡易トイレの設置
- 避難所レイアウト(簡易テント組立等)

3. 物資の確認

- 備蓄物資の点検
- 感染対策物資の使用方法的確認等

避難所開設状況

● 地域と職員で開設 21箇所 ▲ 職員のみで開設 11箇所 — 開設せず(使用不可) 5箇所

災害時避難所名	開設	災害時避難所名	開設	災害時避難所名	開設
墨江小学校	●	大領中学校	▲	浪速中学校・高等学校	—
清明学院高等学校	●	帝塚山学院(第2体育館)	—	苅田小学校	●
住吉武道館	●	長居小学校	●	苅田南小学校	●
清水丘小学校	●	大阪学芸高等学校	▲	阪南高等学校	●
墨江丘中学校	▲	長居幼稚園	●	我孫子中学校	—
清水幼稚園	▲	依羅小学校	●	苅田北小学校	●
遠里小野小学校	●	大阪市立大学(第2体育館)	▲	東我孫子中学校	—
大和川中学校	●	我孫子南中学校	●	教育センター付属高等学校	▲
遠里小野幼稚園	●	南住吉小学校	●	大阪府教育センター	—
東粉浜小学校	●	大空小学校	▲	住吉区民センター (コロナ指定避難所)	▲
住吉中学校	●	三菱中学校	▲	住吉区老人福祉センター (コロナ指定避難所)	▲
住吉小学校	●	山之内小学校	●		
大領小学校	●	府立大阪南視覚支援学校	▲		

3 iisumiについて

▶各施設(病院、クリニック、薬局、訪問看護ステーション、福祉避難所、災害時避難所)がスマホ等で被害状況等を入力することにより、区災害対策本部で情報の一括収集を迅速に行い、以降の支援計画の検討に活用!!

【イメージ】



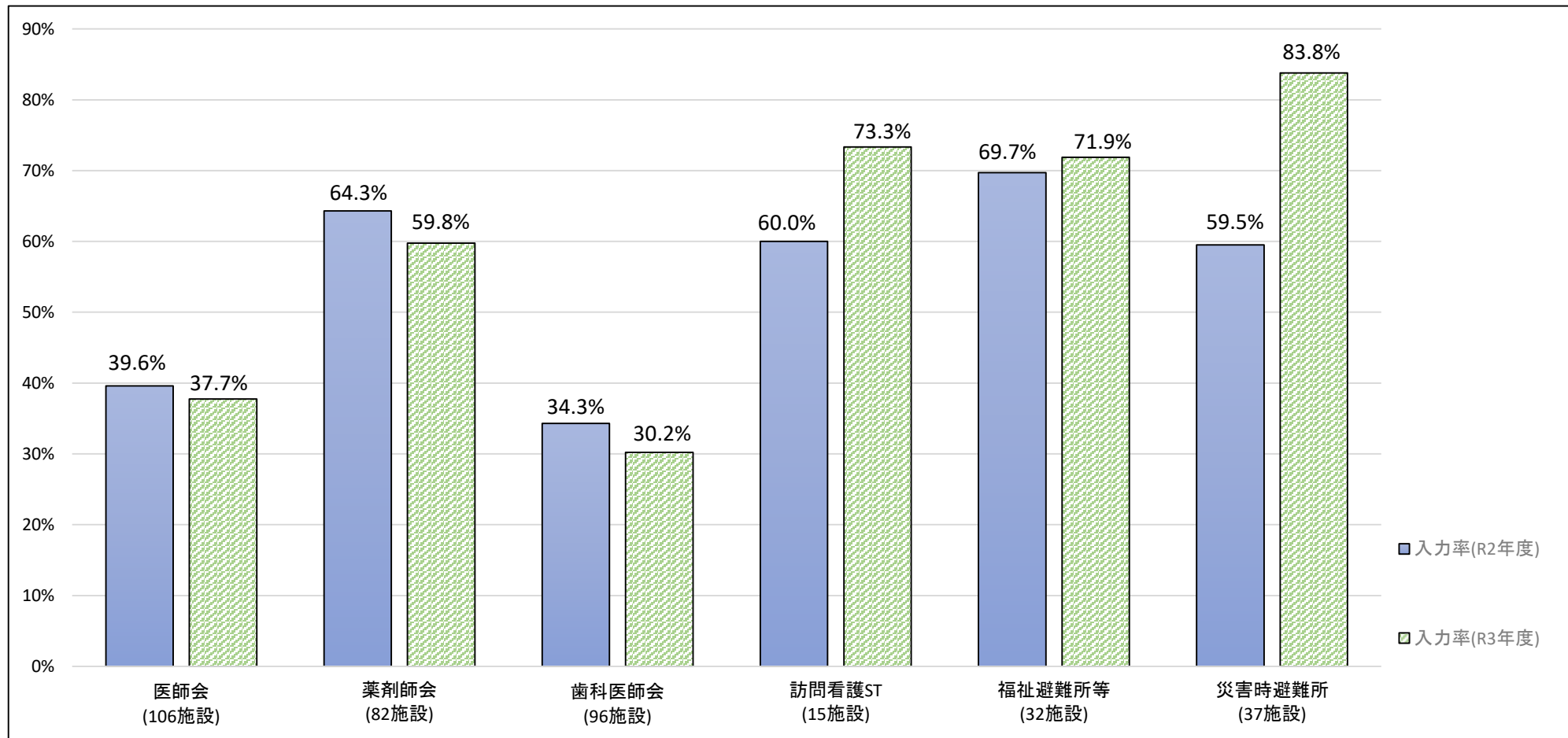
3 iisumiについて

【登録内容等の概要】

団体	iisumi登録施設数 (計368)	登録内容									
医師会	106	開院状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
薬剤師会	82	開局状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
歯科 医師会	96	開院状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
訪問看護 ST	15	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	医療ガス (充足・不足)	医薬品等 (充足・不足)	食料 (充足・不足)	全利用者数 (実数)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
福祉 避難所	32	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	医療ガス (充足・不足)	医薬品等 (充足・不足)	食料 (充足・不足)	利用者定員 (実数)	受入可能 人数(実数)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)
災害時 避難所	37	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	冷暖房 (可・不可)	食料 (充足・不足)	トイレ (充足・不足)	最大避難 受入可能数	避難者数／ 有症状者／ 要配慮者	職員数 (充足・不足)	

3 iisumiについて

【iisumi入力率(令和3年度総合防災訓練)】



4 訓練協力関係機関

機関名称	連携・協力内容
大阪急性期・総合医療センター	●本部運営訓練 ●iisumi通信訓練
住吉区医師会	●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区薬剤師会	●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区歯科医師会	●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区内訪問看護ステーション	●本部運営訓練 ●iisumi通信訓練通信訓練
福祉避難所・緊急入所施設	●無線通信訓練 ●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区社会福祉協議会	●無線通信訓練
大阪市環境局	●太陽光発電設備の仕組みと災害時の利用方法の説明

5 訓練の様子(町会一時避難場所)



参集



可搬式ポンプ庫内物資の確認



応急救助訓練(毛布担架)



開設手順の再確認(開設動画視聴)

6 訓練の様子(災害時避難所)



備蓄倉庫の確認



地域災害対策本部の開設

6 訓練の様子(災害時避難所)



無線通信訓練



一般避難者スペースの設え



簡易テントの組立(療養者スペース)



簡易トイレの組立



発電機の確認

6 訓練の様子(災害時避難所)



太陽光発電の仕組みと災害時の利用方法の説明(苅田南小学校)

※環境局が小学校等に設置した太陽光発電について
平常時:電柱／電線へ。(蓄電しない)
停電時:「非常用コンセント」から電気の利用が可能。

令和3年11月現在設置施設(住吉区内避難所)

- ・苅田南小学校、遠里小野小学校、苅田北小学校、山之内小学校、長居小学校、大領小学校

7 訓練の様子(区災害対策本部)



広報担当(ツイッター等)



無線担当

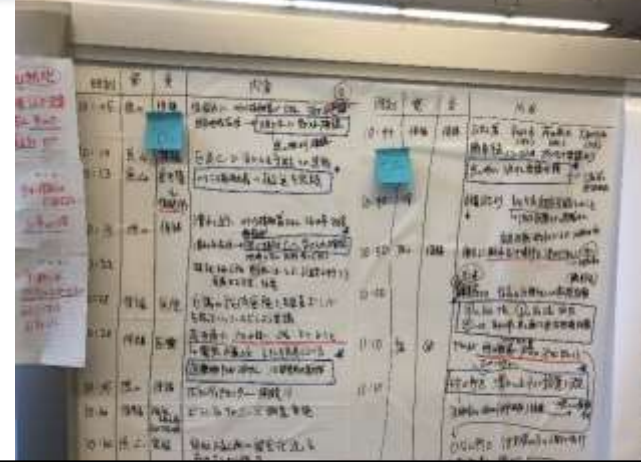


防災情報システム(市との情報共有)



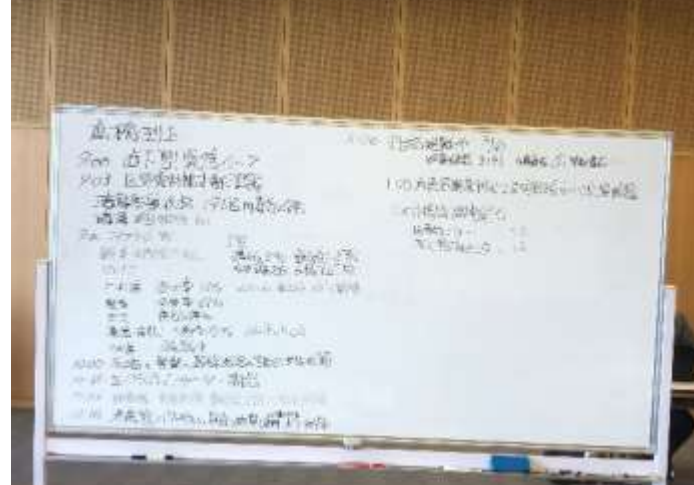
iisumi担当(保健福祉班)
(医師会、薬剤師会、歯科医師会、訪問看護ステーション、福祉避難所、
災害時避難所から集約した情報をマッピングし可視化)

7 訓練の様子(区災害対策本部)



保健福祉班

(収集した情報をもとに救護所設置箇所等の検討及び記録の実施)



庶務班

(収集した情報をもとに被害状況等の集約及び記録の実施)

8 訓練の様子(コロナ指定避難所)



防護服の着用



備蓄倉庫の確認



無線通信訓練



簡易テントの組立(療養者スペース)



簡易トイレの組立



段ボールベッドの確認

9 アンケート結果(抜粋)

回答者数:291人(アンケートは災害時避難所で配布)

Q1.防災訓練はスムーズに行うことができましたか？

	設 問	回 答 率
1	スムーズに行うことができた。	31.0%
2	概ねスムーズに行うことができた。	54.1%
3	スムーズに行うことができなかった。	14.9%

Q2. 今後どのような訓練が必要だと思いますか？

	設 問	回答率
1	災害時避難所の開設・運営訓練	16. 0%
2	応急手当訓練	13. 3%
3	安否確認訓練	13. 2%
4	一時避難場所(町会災害対策本部)中心の訓練	11. 6%
5	水害時想定 of 避難訓練(水平避難、垂直避難)	10. 1%
6	無線の通信訓練	9. 6%
7	救助資機材の確認や使用訓練(ボールやジャッキなど)	9. 5%
8	搬送訓練(布担架、毛布担架、車イス等)	8. 8%
9	消火訓練(可搬式ポンプやバケツリレーなど)	7. 4%
10	その他	0. 5%

Q3. 今回の訓練で良かった点や改善すべき点

【良かった点】

- ▶ 役員の説明がとても分かりやすかった。
- ▶ 訓練に参加している方の意識が高く、みんなで意見交換を行うことができた。
- ▶ 備蓄物資の確認ができて良かった。
- ▶ 毛布担架の作成や簡易トイレの準備、ジャッキの使用方法等の確認ができて良かった。
- ▶ 一時避難場所において要介助者の搬送方法などの訓練ができて良かった。
- ▶ 少人数だったので、落ち着いて訓練をすることができた。
- ▶ トイレの設え等家庭においても活用できることが分かった。
- ▶ 日ごろからの見守り活動により、要支援者に対する安否確認訓練をスムーズに実施できた。
- ▶ コロナ禍を考慮し、ソーシャルディスタンスを確保しながら訓練を実施することができた。
- ▶ 避難所開設の一連の流れが理解できてよかった。
- ▶ 一時避難場所から災害時避難所までのルートを確認できた。

Q3. 今回の訓練で良かった点や改善すべき点

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
1	区役所の参集職員はもっと積極的 に行動してほしい。	・ 区役所職員に対して事前に研修を実施しているが、地域の模擬訓練への参加など、より有効な研修方法について、検討、実施する。
2	各作業の指揮系統が分からず、迅速な対応につながらなかった。	・ 避難所運営委員会の組織(役割名簿)について未設定の地域に対して、あらかじめ作成していただくよう改めて周知する。 ・ より有効な総合防災訓練となるよう、引き続き事前の模擬訓練を実施する。
3	次回はもっと多くの人が参加できるようにしていきたい。	・ 今回は一時避難場所での訓練を実施するなど、前回よりは拡充したものの、コロナ禍の影響により、一般住民の参加は募らなかった。 ・ 次年度についても状況を注視しながら、より多くの住民に参加していただけるよう実施方法等を検討していく。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
4	備蓄倉庫の整理を行い、何がどこに入っているか分かるようにすべきだと思う。	・ コロナ感染拡大防止対策にかかる物資を新たに多数配備した関係により、避難所によっては備蓄倉庫が足りなくなっている。 ・ 地域や施設管理者と引き続き調整の上、備蓄場所の確保に努める。 ・ 備蓄倉庫内のどこに何が入っているか表示するなど、備蓄倉庫の整理を行う。
5	各地域から区へのMCA無線は混線するため、区役所に12台必要ではないか。	・ MCA無線の回線については、大阪市全体での回線上限数が決まっているため、増やすことはできない状況である。 ・ 情報連絡については、MCA無線だけではなく、LINEやiisumi等さまざまなツールにおいて実施するよう検討、周知を図る。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
6	水害に備えて、1階に保管している物資は上階に移動すべきではないか。	・ 大和川氾濫における浸水が想定される避難所においては順次上階への移動を進めている。 ・ しかしながら、避難所によっては上階に保管場所がない等の理由により移動できていない施設もあるため、地域や施設管理者と引き続き調整の上、備蓄場所の確保に努める。 ・ なお、場所の確保が困難な場合、水害はあらかじめ想定が可能であるため、水害が発生する想定の数時間前に2階以上に臨時的に移動する等、運用方法の検討も行う。
7	簡易トイレの凝固剤や養生テープ等消耗品が少ないため、もっと配備してほしい。	・ 各避難所に簡易トイレの凝固剤1,600セット、養生テープを30巻配備している。 ・ 避難所に300名が避難した場合、1日にトイレに行く回数を5回とすると、1日で1,500セット使用することになりますので、約1日で使い切ることとなる。 ・ そのような点も踏まえ、地域や防災専門会議等で御意見をいただきながら、引き続き必要物資の検討や予算措置を行う。